

---

## 安全データシート (SDS)

---

### 1. 製品及び会社情報

製品名 : Fクリーナー  
 会社名 : 株式会社ナチュラル  
 住所 : 神奈川県横浜市瀬谷区瀬谷5812細谷戸ハイツ3-2-4063-2-406 / 〒339-4511  
 担当部門/緊急連絡先 : 本社 / 電話番号 045-459-6536 / FAX番号 045-459-6537  
 製品説明 : アルカリ性洗剤

---

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

#### 物理化学的危険性

火薬類	分類対象外
可燃性・引火性ガス	分類対象外
可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
支燃性・酸化性ガス類	分類対象外
高压ガス	分類対象外
引火性液体	区分外
可燃性固体	分類対象外
自己反応性化学品	分類対象外
自然発火性液体	区分外
自然発火性固体	分類対象外
自己発熱性化学品	区分外
水反応可燃性化学品	分類対象外
酸化性液体	分類対象外
酸化性固体	分類対象外
有機過酸化物	分類対象外
金属腐食性物質	区分1

#### 健康に対する有害性

急性毒性(経口)	区分外
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入:ガス)	分類対象外
急性毒性(吸入:蒸気)	分類対象外
急性毒性(吸入:粉塵)	分類対象外
急性毒性(吸入:ミスト)	分類できない
皮膚腐食性・刺激性	区分3
目に対する重篤な損傷・眼	区分2B
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器・全身毒性	分類できない
吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性	分類されない
水生環境急性有害性	分類されない
水生環境慢性有害性	分類されない

GHSラベル要素  
絵表示またはシンボル



<p>注意喚起語 危険有害性情報 注意書き</p> <p>[安全対策]原液</p> <p>[応急措置]原液</p> <p>[保 管]</p> <p>[廃 棄]</p>	<p>危険</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 軽度の皮膚刺激・眼刺激</li> <li>▪ 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。</li> <li>▪ 取扱い後は手をよく洗うこと。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。</li> <li>▪ 皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと/取り除くこと。皮膚をシャワーで洗うこと。</li> <li>▪ 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。</li> <li>▪ 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。</li> <li>▪ 汚染された衣類をすべて脱ぐこと。</li> <li>▪ 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 直射日光・高温多湿な場所を避けて密閉して保管する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 内容物や容器を都道府県または市町村の明示する規則に従って廃棄すること。</li> </ul>
---	--

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物  
成分 : ケイ酸塩  
炭酸塩  
エチレンジアミン四酢酸塩  
非イオン界面活性剤  
天然由来成分 水

4. 応急措置(原液)

吸入した場合 : 粉塵やミストを吸い込んだときは、直ちに新鮮な空気の場合に移動し、鼻をかんだり、よくうがいをする。何らかの異常を感じた時は、直ちに医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合 : 直ちに多量の水でぬめり感がなくなるまで十分に洗い流す。衣服や靴などに付いたときは、直ちに脱ぎ皮膚を多量の水でぬめり感がなくなるまで十分に洗い流す。何らかの異常を感じた時は、直ちに医師の診断を受ける。

目に入った場合 : 直ちに流水で15分以上洗い流す。コンタクトレンズは外す。その後、直ちに医師の処置を受ける。

飲み込んだ場合 : 直ちに水で口の中を洗浄し、コップ1～2杯の水または牛乳を飲ませて、直ちに医師の処置を受ける。無理に吐かせようとしない。意識のない時は口から何も与えない。

いずれの場合も、医師への診察時には、製品または安全データシートを持参する。

---

#### 5. 火災時の措置

消火剤 : 水、泡、粉末、二酸化炭素などの一般消火剤が使用できる。  
消火方法 : 本製品は不燃性物質であるが、周辺火災の場合はすみやかに安全な場所に移す。移動ができない場合は、風上より容器周辺に散水して冷却する。

---

#### 6. 漏出時の措置

環境に対する注意事項 : 雨水溝、河川、海上などに流す場合は地域の法律に従って処理してください。希釈時は該当せず、その場合も地域の法令を確認して下さい。

---

#### 7. 取り扱い及び保管上の注意

##### 取扱い

- ・ 使用時は洗浄剤が飛散しないように丁寧に取扱う。
  - ・ 飛散した粉塵を吸い込んだり、目に入らないように注意する。
  - ・ 用途以外には絶対に使用しない。
  - ・ 他の薬剤、洗浄剤などとは絶対に混ぜない。
  - ・ 誤飲等事故の恐れがあるので、食品等の容器を含む他の容器に移し替えたり小分けしない。
  - ・ 移動・保管時は容器の口をしっかりと閉める。
  - ・ 倒したり・こぼしたりしないように注意する。  
直射日光・高温多湿な場所を避けて密閉して保管する。
  - ・ 子供の手の届かないところに保管する。
- 

#### 8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 : 取扱い場所の近くに洗眼、身体洗浄のための設備を設ける。  
管理濃度 : 設定されていない。  
許容濃度 : 設定されていない。

## 9. 物理的及び化学的性質

外観等	: 液体
pH	: 11.0~12.0 (10倍希10.5)
比重	: データなし
粘度	: データなし
溶媒に対する溶解性	: 水に溶解する
引火点	: なし(不燃物)
臭い	: なし
融点・凝固点	: データなし
沸点	: データなし
燃焼又は爆発範囲	: データなし
蒸気圧	: データなし
蒸気密度	: データなし
水分配係数	: データなし
自然発火温度	: データなし
分解温度	: データなし
蒸発速度	: データなし
(注) 数値はいずれも代表値で表示。	
溶媒に対する溶解性	: 水に溶解する
ヒ素	: 0.067mg/L 以下 (食品・添加物規格基準 厚生省告示第370号洗浄剤成分規格 : 製品150倍希釈液)
重金属	: 1.0mg/L 以下 (食品・添加物規格基準 厚生省告示第370号洗浄剤成分規格 : 製品150倍希釈液)

## 10. 安定性及び反応性

安定性	: 通常の手扱い条件 (屋内、常温) においては安定である。
反応性	: 酸性物質と反応し中和熱を発生する。
避けるべき条件	: 酸性物質との接触、40℃以上の高温下での保管、直射日光下、解放状態。
避けるべき材料	: はず、亜鉛などの金属類、漆器。 : アルミニウム、銅、銅合金などは指定された濃度以外での使用を避ける。
危険有害な分解生成物	: 特になし

## 11. 有害性情報

急性毒性 : 経口急性毒性推定値 区分外 (2001mg/kg < 経口急性毒性推定値(ATE))

(参考) 各成分のデータ :

・ケイ酸塩	: 経口(ラット)LD <sub>50</sub>	1,280mg/kg
・炭酸塩	: 経口(ラット)LD <sub>50</sub>	4,090mg/kg
・エチレンジアミン四酢酸塩	: 経口(ラット)LD <sub>50</sub>	2,700mg/kg
・非イオン界面活性剤	: データなし	
局所効果	: 皮膚に触れた場合	: 刺激を感じる場合がある。
	: 目に入った場合	: 痛みを感じる場合がある。
	: 飲み込んだ場合	: 口腔・食道・胃部の灼熱感がある場合がある。
	: 吸入した場合	: 粉塵やミストを吸入した場合、鼻・喉。気管支・肺を刺激する場合がある。
感作性	: データなし	
慢性毒性	: データなし	
長期毒性	: データなし	

## 12. 環境影響情報

移動性	: データなし
残留性・分解性	: COD Mn5ppm (0.1%水溶液; JIS K0102 1998)
生体蓄積性	: データなし
生態毒性	: アルカリ性であるため、大量に流出した場合は水生生物に対して影響を及ぼす。

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 少量の場合は、水で希釈してから、酸（希硫酸など）で中和して排出する。 多量の場合は、都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者にて委託処理する。
汚染容器・包装	: 使い終わった容器は、よく洗ってから処理する。

## 14. 輸送上の注意

国内法規制	: 特になし
輸送の特定の安全対策及び条件	: ・輸送前に容器の破損、腐食、漏れなどがないことを確認する。 ・荷役作業は丁寧に扱い、容器を破損しないように取り扱う。 ・転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を行う。 ・直射日光下での輸送は避ける。 ・水濡れを避ける。 ・凍結を避ける。

HSコード : 3402.2

## 15. 適用法令

毒物及び劇物取締法	: 該当しない
化学物質管理促進法( PRTR法 )	: 該当しない
労働安全衛生法／通知対象物	: 該当しない
表示物質	: 該当しない
有機則	: 該当しない
特化則	: 該当しない
消防法	: 該当しない
危険物船舶運送及び貯蔵規則	: 該当しない
海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律	: 該当しない
水質汚濁防止法(健康項目)	: 該当しない
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	: 該当しない

## 16. その他の情報

問合せ先 : 株式会社ナチュラル  
電話番号: 045-459-6536 / FAX番号: 045-459-6537

引用文献 : ・製品安全データシートの作成指針 (改訂版)[(社)日本化学工業協会(平成13年10月)]  
・JIS Z 7253/2012 安全データシート (SDS)  
・毒物劇物取締全書 [じほう]  
・14501の化学商品 [化学工業日報社]  
・化学品別用法規総覧 [化学工業日報社]  
・危険物船舶運送及び貯蔵規則 (十一訂版) [海文堂]  
・公害防止の技術と法規 (水質編) [(社)産業公害防止協会]  
・特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善促進の進め方 [(財)日本規格協会]

※記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データなどに基づいて作成しており、情報の完全さ、正確さを保障するものではありません。すべての化学品には未知の危険・有害性があり得るため、ご使用の際は用途・用法に適した安全対策を実施の上、使用者の責任において適正に取り扱ってください。

以上